

施策番号	6
------	---

## 施策評価シート（評価対象年度：令和3年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	6	生涯スポーツ
10年後のまちの姿	〇年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず多くの市民が生活の中でスポーツに親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、身近な活動場所となる体育施設等の適切な管理、活動団体に対する支援、スポーツを見て楽しむ機会の創出等によって、市民が生涯スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりと交流の促進を進めます。 市民等は、体育施設等の利用・観戦マナーを守りながら、自身の健康・体力の状態に見合った運動・観覧・ボランティア等を通じて多様なスポーツ活動を定期的・持続的に実施するとともに、活動の輪を広げるよう努めます。	
実現に向けた取組	①習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供 ②施設の適切な維持管理と利用促進 ③スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化	
施策担当課・係	生涯学習課 スポーツ振興係	
施策関係課・係	健康づくり課 元気応援係	

### I 施策の実施状況

#### 1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	356,835	154,924	211,980	120,498	183,542
事務事業数	16	16	16	16	17
うち、事務事業評価対象	15	16	16	15	13

#### 2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（男）の割合（アンケート調査）	%	13.7	未把握	未把握	21.1	未把握	未把握	20.0	26.9
1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（女）の割合（アンケート調査）	%	12.4	未把握	未把握	17.9	未把握	未把握	15.0	19.2
ぶれすほ胎内（トレーニングルーム）の延べ利用者数〔年間〕	人	11,250	19,479	22,980	22,288	12,779	15,236	15,000	18,000
スポーツ・ツーリズムイベント参加者数〔年間〕	人	456	563	803	733	103	148	750	1,000
成果指標による現状分析	新型コロナウイルスの影響により予定したイベントの約半数が中止となり参加者数が大幅に減少することとなったが、コロナ禍によるスポーツイベントへの要望は強く、ウォーキング等に対する市民への参加意欲は高い。 トレーニングルーム利用者数については、休館や利用制限等があったものの、健康の維持・向上への高まりから昨年を上回る利用者数となった。								

#### 3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
評価の理由	集団接種会場となったことでアリーナの利用者数は大きく減少したが、トレーニングルームやランニングレーン利用者数については、昨年を上回る利用者数となり、健康志向の高まりと併せて今後はコロナ前の水準に近づいていくものと思われる。 また、コロナ禍で県外への旅行や、出かけることを控えている状況からスポーツイベントへの参加意欲が高く、実施したウォーキングイベントは好評を得ることができた。

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・総合型地域スポーツクラブやその他の活動団体と連携し、医療・福祉分野の取組を巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず参加しやすくなるようなプログラムの提供に取り組みます。</li><li>・子どもがスポーツに触れるきっかけや体力向上、社会性を培う貴重な場となっているスポーツ少年団・スポーツ教室の活性化に向けて、指導者の育成や負担軽減、親子で参加できるプログラムの提供等に取り組みます。</li><li>・胎内リゾートエリア、河川堤防等の場所において、自然に親しみながら健康・体力づくりにもつながる運動ができるような環境整備を検討します。</li></ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年度より、ぶれすほ胎内を始めとした社会体育施設をNPO法人スポーツクラブたいたないが指定管理者となり、市民と身近な存在として管理業務を実施しており好評を得ている。</li><li>・スポーツを身近に感じることができるイベントとして毎年開催してきた、たいたないスポーツフェスティバルを変更し、年齢や性別等にかかわらず参加できるイベントを開催した。（令和3年10月ウォーキングイベント 参加者208人、令和3年11月スポーツ体験フェスタ参加者142人）</li><li>・楡形ウインドトレイル（H28～）、たいたない高原マラソン（H29～）、ツールド胎内【サイクルイベント】（R1～）など、自然に親しみながら健康・体力づくりにもつながるイベントを開催した。</li></ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツを手段とした医療費抑制への期待感が増しているが、特にスポーツ実施率が低いビジネスパーソンや子育て世代を対象としたスポーツに触れる機会の提供は、今後より力を入れて取り組むべきことであり、NPO法人スポーツクラブたいたないと連携等を図りたい。</li><li>・平成30年3月に新たに「胎内市スポーツ推進計画」が策定された。市民のスポーツ実施率が平成29年度調査で35%であり、国の51.5%と比較して低いことから、特に無関心層や女性及びビジネスパーソンへの具体的な諸施策により改善に努めたい。</li><li>・パラスポーツが、障がい者と健常者が一緒にできる取組となり、より身近なものとなるよう市民向けの体験会を実施していきたい。</li><li>・親子で参加できる取組や休日でも参加しやすいスポーツの普及により、子どもがスポーツに触れるきっかけの提供を進めたい。</li><li>・市民が日常においても個人で気軽に取り組むことができる通勤時のウォーキングや自重で行う筋肉トレーニングを推奨することで、視野の拡大を図りたい。</li></ul>

##### ② 施設の適切な維持管理と利用促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・各施設については、体育施設としての利用状況や市民の利便性に加えて防災機能等を総合的に評価し、今後の利用計画を検討します。</li><li>・管理運営や利用促進に民間のノウハウや資金、人材を積極的に活用して、施設の有効活用を図ります。</li><li>・ぶれすほ胎内、総合グラウンド、リバーサイドパーク等の拠点施設が集積するエリアを健康・体力づくりの拠点と位置付け、市民が利用しやすい環境づくりをソフト、ハードの両面から検討します。</li></ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"><li>・中条体育館・武道館等の解体撤去（H29）、旧村松浜小学校体育館の解体（H30設計委託、R1工事）、黒川体育館利用廃止（令和3年度）、解体（令和4年度）を実施。</li><li>・高浜地域スポーツ施設体育館の利用廃止（令和3年度）</li><li>・効率的かつ効果的な管理運営、利用者の利便性向上を図るため、ぶれすほ胎内・総合グラウンド陸上競技場など社会体育施設15施設に平成28年度から指定管理者制度を導入し、民間企業による管理を実施した。</li><li>・第2期指定管理期間となる平成31年4月から指定管理施設を14施設とし、NPO法人スポーツクラブたいたないを指定管理者に決定した。（指定期間 令和6年3月まで）</li><li>・ぶれすほ胎内のトレーニングルームやランニングレーンの利用人数が増加しており、個人が気軽にスポーツ・運動に取り組もうとする機運の醸成に繋がっている。</li></ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化している旧小学校体育館やサンビレッジ体育館、レクホールについて、順次修繕を行っていく必要がある。</li><li>・黒川地区には体育館がなくなり、地域スポーツ施設も老朽化により廃止になった場合、社会体育施設が不足し、市民への利用に影響が出てくる可能性があることから既存施設の改修、計画的な利用方法を検討する必要がある。</li><li>・ウォーキングイベントに胎内市の自然や観光も同時に楽しめて親子でも参加しやすいイベントを企画、開催しスポーツへの関心を高めていく必要がある。</li></ul>

③ スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外のスポーツ団体、選手等との交流を通じて、競技者だけでなく一般市民も観戦・応援やボランティア等でスポーツの魅力に触れる機会を創出します。</li> <li>・レベルの高い競技を見る、専門家から指導を受ける等により、トップアスリートを目指すきっかけづくりや市民のスポーツ活動に触れる機会の増大を図ります。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から参加者を募集し行うスポーツ・ツーリズムのイベントとして、H28年度から楡形ウインドトレイル、H29年度からたいない高原マラソンを毎年開催している。</li> <li>・みるスポーツの機会として、以下を誘致・開催した。 H29 Wリーグ（バスケット女子日本リーグ）公式戦、新日本プロレス興行 H30 開志国際高等学校男子バスケットボール部公開練習試合 R1 開志国際高等学校バスケットボールフェスティバル</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいない高原マラソンなどを開催するにあたり、スポーツボランティアの必要性が増している。スポーツボランティアとしてスポーツの魅力に触れ、スポーツを身近に感じることができる機会の創出に努めたい。</li> <li>・少子化や、多様な社会の在り方によりスポーツ競技人口が減少してきており、各団体においては人数確保に苦慮している中で、各競技のトップアスリートを招いてのクリニック開催や講演会を開催することにより、各種競技への関心を高めていくとともに競技人口の増加を図り、スポーツの楽しさを見つけてもらう。</li> </ul>

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・福祉分野の取組を巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず参加したくなるようなプログラムの提供に取り組みます。</li> <li>・各種競技への関心を高めるために、子供も大人でも興味をもてるようなスポーツ体験教室等を開催し、スポーツ人口の増加に努めます。</li> <li>・アフター、ウィズコロナを見据え、失われた運動機会を提供します。</li> </ul>

## II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R3		R4		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源					
160111	スポーツバス運行事業	2,639	2,639	4,100	4,100	○	○	③		生涯学習課
160112	育てるスポーツ事業	1,198	1,198	1,594	1,594	△	○	②		生涯学習課
160311	する・みるスポーツ事業	1,925	1,721	2,512	2,344	△	○	③		生涯学習課
160218	総合体育館管理事業	81,233	76,134	83,251	77,721	○	○	⑤		生涯学習課
160210	総合グラウンド管理事業	19,336	1,849	4,504	2,619	○	○	③		生涯学習課
160211	地域スポーツ施設管理事業	1,643	1,639	553	549	◎	○	⑥		生涯学習課
160213	サンビレッジ中条管理事業	723	723	34	34	◎	○	③		生涯学習課
160214	黒川体育館管理事業	2,118	1,916	263	263	○	○	⑦		生涯学習課
160215	山村広場管理事業	3,884	3,796	5,244	5,167	△	○	③		生涯学習課
160216	B&G海洋センター管理事業	11,691	5,150	880	838	○	○	②		生涯学習課
160217	胎内ライフル射撃場管理事業	3,641	3,230	4,052	3,793	△	○	⑤		生涯学習課
160220	胎内レクホール管理事業	1,724	1,670	1,079	1,055	×	○	③		生涯学習課
160310	競うスポーツ事業	3,911	3,911	3,995	3,995	○	○	③		生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160111	
事務事業名	スポーツバス運行事業	担当課 生涯学習課 担当係 スポーツ振興係 担当者
基本政策	1 子育て・教育・学び	事業年度 令和3年度 会計区分 一般会計
主要施策	6 生涯スポーツ	事業コード 大 16 生涯スポーツ 中 01 習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供 小 11 スポーツバス運行事業
事務区分	法定受託事務 法令による義務付け	自治事務 任意 ○ 根拠法令 スポーツ基本法 関連法規 関連計画 胎内市スポーツ推進計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツ施設の効率的な利用を図るためスポーツバスを運行する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツバス2台の運行</li> <li>・スポーツバス2台の法定点検</li> <li>・スポーツ推進以外の教育委員会及び他課の事業支援</li> </ul>
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	3,913	3,944	18,011	2,172	2,639
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	14,594	0	0
一般財源	3,913	3,944	3,417	2,172	2,639
人件費（千円）	552	557	570	569	569
正（h）※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	300	300	300	300	300
※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	4,465	4,501	18,581	2,741	3,208
財源「その他」内訳	運動業務委託 1,646千円 修繕費 491千円 燃料費 256千円 ほか				
単位コスト	算出方法 一般財源（人件費を除く）／利用人数				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	500円	462円	496円	1,860円	1,075円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数
	目標	365回	365回	330回	330回
	実績	371回	405回	278回	79回
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	8,030人	8,030人	8,000人	4,080人
	実績	7,819人	8,542人	6,889人	1,168人
	目標比	97.4%	106.4%	86.1%	28.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	◎	△	×	○
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ウィズコロナの新しい生活様式を取り入れ、可能な範囲でのスポーツ大会等が開催され、徐々に利用数が増えてきたと思われる。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[R1]	・スポーツ振興基金によりバスを購入し、旧バスは学校教育課へ所管替えした。
[R2]	・NPO法人スポーツクラブたいないへの一部事業委託実施

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	バスの運転業務委託に市民協働の余地がないため。

7 事業の課題

課題	コロナ禍による生活様式が浸透しスポーツ活動等が徐々に戻りつつあることを踏まえながら、次年度以降の運用実績に基づき、業務内容を検討していく。
----	---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	③	③	③
課題	・NPO法人スポーツクラブたいないへの事業委託を継続していく。 ・R4年度から市内小学校のプール授業にてスポーツバスを使用することが決まっており、運行回数や利用人数は大幅に増加することが見込まれる。				

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160112		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	育てるスポーツ事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
主要施策	6	生涯スポーツ		中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供	予算科目	項	07	保健体育費
				小	12	育てるスポーツ事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	スポーツ基本法					
	法令による義務付け			関連例規			関連計画	胎内市スポーツ推進計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを自らの健康づくりの礎にするキッカケづくりとなる機会を作るためにイベント等を行い、スポーツ少年団へ補助金を交付している。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ少年団活動への補助や指導者育成事業に対してスポーツ振興補助金交付</li> <li>親子イベントの開催(チャレンジスポーツ夏・スキー教室)</li> <li>スポーツ教室(キッズ運動等)の開催</li> </ul>
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費(千円)	2,919	3,731	1,376	1,469	1,198	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	2,919	3,731	1,376	1,469	1,198	
人件費(千円)	1,289	1,299	950	948	948	
正(h) ※事業費 ※事務任用(h) ※業務費	700	700	500	500	500	
委託(h) ※事業費 ※事務任用(h) ※業務費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	4,208	5,030	2,326	2,417	2,146	
財源「その他」内訳						
事業費の主な支出内容	胎内市スポーツ振興補助金 スポーツ教室等指導者謝礼		1,020千円 30千円 など			
単位コスト	算出方法	補助金を除く事業費/運動に親しむ事業回数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		254,571	241,375	89,000	149,667	35,600

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	
	目標	8回	8回	6回	7回	7回
	実績	7回	8回	4回	3回	5回
成果指標	名称	全国体力テストにおける昭和60年度比較90%達成数	全国体力テストにおける昭和60年度比較90%達成数	全国体力テストにおける昭和60年度比較90%達成数	令和2年度体力運動能力調査中止のため、独自に体力測定を開催	全国体力テストにおける昭和60年度比較90%達成数
	目標	12種目	12種目	7種目	8種目	8種目
	実績	9種目	8種目	6種目	8種目	8種目
	目標比	75.0%	66.7%	85.7%	100.0%	100.0%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	△	○	△

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小学校や保育施設での新型コロナウイルス感染拡大の影響により、キッズ運動教室や冬のイベント(スキー・わくわくフェスティバル)は中止となったが、夏のイベントは開催できた。</li> <li>体力測定にイベント色をプラスし、ぶれすぼ胎内利用者や市内スポーツ少年団に告知し、親子から単独の方まで参加しやすいようなメニューを作成し、昨年を上回る参加者獲得に成功した。</li> </ul>
-------	--

5 改革の実施状況(平成29年度～)

[H30]	親子で体力測定を行う機会を検討
[R1]	親子で体力測定を行う機会を提供(ファミリー体力測定)
	幼児、児童のスポーツ教室をNPO法人へスポット的に委託

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	各種教室の開催は委託によるものであるため。

7 事業の課題

親子で参加のリピーター率が高くなっており、新規の掘り起こしが必要。スポーツ少年団活動においては、少子化が進む中でも団への加入率を高めていくことが必要となる。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	⑤	②	②	②

・趣向を少しづつ変えながら新規参加者の掘り起こしに努める。  
・子どもの頃から主体的に運動に関わる良好なスポーツ・運動習慣の確立のために継続した事業とする。

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160311		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者
事務事業名	する・みるスポーツ事業		事業年度	令和3年度	会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大 16 生涯スポーツ	予算科目	款	10 教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中 03 スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化	項		07 保健体育費	
			小 11 する・みるスポーツ事業	目		01 保健体育総務費	
事務区分	法定受託事務	自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法	関連計画	胎内市スポーツ推進計画
	法令による義務付け	努力義務+任意		関連例規			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを自らの健康づくりの礎にするキッカケづくりとなる機会を作り、また、マラソン事業への補助金を交付している。
主な実施内容	するスポーツ ・主に働き盛り世代を対象としたスポーツ大会（委託開催）・イベントの開催（野球、ゴルフ、バレーボール、ソフトバレーボール大会、高齢者運動会の開催、ウォーキングイベント、体験型イベントの開催） ・たいない高原マラソンの開催（スポーツ振興補助金の交付） みるスポーツ ・胎内カップバスケットボールフェスティバルの開催協力
実施方法	市が直接実施+補助・負担

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	◎	○	×	△
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、野球大会、高齢者運動会、たいない高原マラソンが中止、雨天の為、千本桜ウォークが中止が中止となったが、スポーツ・ツーリズムイベント参加者は楢形ウィンドトレイルの148人のみだった。 ・市民向けのイベントについては、スポーツ推進委員の新規イベントを開催することができ、自分に適した運動やスポーツに親しむ機会の拡充に繋がっている。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29]	マラソンコースの変更（新規開催）	[R3]	ナイトウォークの開催（スポーツ推進委員）
[H30]	誰でも筋トレ相談会の実施		
	筋肉トレーニング相談会の実施		
	たいない高原マラソンの開催日の変更		
[H31]	胎内カップバスケットボールフェスティバルへの協力		
[R2]	ウォーキングイベントの開催		

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,498	1,804	1,690	901	1,925
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	98	98	95	176	204
一般財源	2,400	1,706	1,595	725	1,721
人件費（千円）	1,473	1,485	1,519	758	758
正(h) ※事業費 ※専任任用(h) 費	800	800	800	400	400
総事業費+人件費	3,971	3,289	3,209	1,659	2,683
財源「その他」内訳	小学校使用料 41千円 中学校使用料 163千円				
事業費の主な支出内容	胎内市スポーツ振興補助金 800千円(たいない高原マラソン) スポーツ教室等開催業務委託料 219千円				
単位コスト	算出方法 スポーツ振興補助金/スポーツツーリズムイベント参加者				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	888円	623円	1,088円	-	5,405円

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	スポーツ推進委員とは協働でウォーキングイベントを実施しているが、一般の方とは、検討中。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントを行うため、スタッフ確保が必要となる。</li> <li>・身近な運動である「歩く」ことのイベントに加え、他のイベントと連携して運動機会を増やしていく。</li> </ul>
---

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	スポーツ・ツーリズムイベント回数	スポーツ・ツーリズムイベント回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	
	目標	2回	2回	2回以上	2回以上	
	実績	2回	2回	2回	0回	1回
成果指標	名称	スポーツ・ツーリズムイベント参加者数	スポーツ・ツーリズムイベント参加者数	スポーツ・ツーリズムイベント参加者数	スポーツ・ツーリズムイベント参加者数	
	目標	750人	750人	750人	750人	
	実績	563人	803人	735人	0人	148人
	目標比	75.1%	107.1%	98.0%	0.0%	19.7%

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	⑤	③	③	③	③
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングと併せて胎内市の魅力を発見してもらうような取組みを検討していく。</li> <li>・みるスポーツは、年齢や体力を問わない気軽な参加方法であることから、誘致活動を進め、定期的に見る機会を提供したい。</li> <li>・各イベントにおいてスポーツボランティアの確保・育成を進めたい。</li> <li>・スポーツイベントがマンネリ化しないように、イベントを提供していく。</li> <li>・健康立県の実現に向けて、スポーツ実施率の低い働く世代、子育て世代を主な対象に楽しみながら運動や健康づくりに取り組みするよう県が進める「ヘルス&amp;スポーツマイレージ事業」と連携し市民の運動意識の向上に努める。</li> </ul>					

9 二次評価委員会所見

「ヘルス&スポーツマイレージ事業」について、市報やホームページをはじめ、特定検診時等でも事業周知を図っていくこと。
---

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				



事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160218		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	総合体育館管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ		中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
				小	18	総合体育館管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	胎内市社会体育施設条例			関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	
	法令による義務付け			関連例規	胎内市社会体育施設条例			関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	<p>総合体育館の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年5月14日オープン。</li> <li>ランニングコース（1周215メートル）</li> <li>トレーニングルーム</li> <li>武道館 柔道場、剣道場が各1面、3人立の弓道場</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期指定管理期間（H31～R5）</li> <li>モニタリングの実施</li> <li>トレーニング機器等の賃借</li> </ul>
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	103,072	103,046	81,341	81,022	81,233	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	7,845	7,815	349	349	5,099	
一般財源	95,227	95,231	80,992	80,673	76,134	
人件費（千円）	828	928	950	948	948	
正（h）※事業費 ※事業 ※事業 任用（h） 業費	450	500	500	500	500	
※事業費 ※事業 ※事業 任用（h） 業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	103,900	103,974	82,291	81,970	82,181	
財源「その他」内訳	光熱水費負担金 4,191千円 敷地使用料 908千円					
事業費の主な支出内容	社会体育施設管理運営委託料 73,700千円 トレーニング機器等賃借料 1,618千円 サーマルカメラ（検温器） 407千円					
単位コスト	算出方法	一般財源（人件費を除く） ／利用人数（総合体育館全体利用人数）				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		880円	868円	553円	1,105円	

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	トレーニングルーム利用可能日数	トレーニングルーム利用可能日数	トレーニングルーム利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	340日	340日	345日	345日	345日
	実績	340日	345日	345日	312日	343日
成果指標	名称	トレーニングルーム年間利用者人数	トレーニングルーム年間利用者人数	トレーニングルーム年間利用者人数	トレーニングルーム年間利用者数	トレーニングルーム年間利用者数
	目標	15,000人	15,000人	15,000人	20,700人	20,700人
	実績	19,479人	22,980人	22,288人	12,779人	15,236人
	目標比	129.9%	153.2%	148.6%	61.7%	73.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	○
評価の理由	<p>◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない</p> <p>指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を目指しつつ、スポーツ推進の拠点施設として、より市民にとって身近な施設となるよう努めている。 コロナ禍ではあるが、感染症対策を講じながら事業を実施し、トレーニングルーム利用者も前年度より増加している。</p>				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H28]	指定管理者制度導入
[H30]	第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[R1]	第2期指定管理期間（H31～R5）

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

課題	コロナ禍の影響による利用者数の回復を図る必要がある。
----	----------------------------

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
今後の方向性	<p>・アフターコロナを見据え、気軽にスポーツ・運動に取り組めるよう市民ニーズを捉えた効果的な施策を講じ、さらにスポーツ・運動に取り組もうとする機運の醸成につなげたい。</p> <p>・平成31年度より第2期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。</p>				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	⑦	◎	◎
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					



事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160210		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	総合グラウンド管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
主要施策	6	生涯スポーツ		中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	予算科目	項	07	保健体育費
				小	10	総合グラウンド管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務	自治事務	○	根拠法令	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		
	法令による義務付け	努力義務＋任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	体育館・陸上競技場・野球場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期指定管理期間（H31～R5）</li> <li>陸上競技場写真判定機等の賃借</li> <li>棒高跳び用マット購入</li> <li>ミニ合宿所解体工事</li> <li>写真判定台新設工事</li> <li>旧写真判定台撤去工事</li> </ul>
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	5,688	6,230	55,268	8,941	19,336	
国・県支出金	0	0	0	800	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	876	840	49,916	0	17,487	
一般財源	4,812	5,390	5,352	8,141	1,849	
人件費（千円）	276	316	380	379	379	
正（h）※事業費 ※事業費 ※事業費	150	170	200	200	200	
※事業費 ※事業費 ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	5,964	6,546	55,648	9,320	19,715	
財源「その他」内訳	建物災害共済金 12,859千円		スポーツ振興くじ助成金 2,942千円			
	光熱水費負担金 1,686千円		棒高跳び用マット等購入 4,290千円			
	ミニ合宿所解体工事 3,974千円		写真判定設備改修工事 3,798千円			
	写真判定台撤去工事 220千円					
単位コスト	算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		129円	148円	1,505円	284円	52円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	357日	357日	357日
	実績	357日	357日	357日	357日	343日
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	35,800人	35,800人	35,800人	35,800人	35,800人
	実績	37,275人	36,500人	36,731人	28,631人	35,335人
	目標比	104.1%	102.0%	102.6%	80.0%	98.7%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	○	○
評価の理由	陸上競技会や学校部活動、グラウンドゴルフなど、広く利用されている。R3年度はメインの陸上競技場と総合グラウンドが屋外ということもあり、コロナウイルス感染拡大前の利用者数に戻った。総合グラウンド体育館においても、徐々に利用者数が戻りつつある。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H28]	指定管理者制度導入
[H30]	第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[R1]	第2期指定管理期間（H31～R5）、3種公認検定補修工事を実施

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

電波法の改正により電子音スタート発信装置を新たに用意する必要がある。
------------------------------------

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
3種公認が今後も必要なのか、競技団体と協議していく。					
平成31年度より指定管理制度を導入し、市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
	削減	⑧	⑥	⑦
縮小	⑨	⑦	⑧	
維持	⑩	⑧	⑨	
拡大	⑪	⑨	⑩	
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160211		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	地域スポーツ施設管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
主要施策	6	生涯スポーツ		中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	予算科目	項	07	保健体育費
				小	11	地域スポーツ施設管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		
	法令による義務付け			関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域スポーツ施設（築地、竹島、高浜、本条、柴橋）の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期指定管理期間（H31～）</li> <li>旧乙地域スポーツ施設の土地借地</li> </ul>
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	382	349	772	706	1,643	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	308	331	4	4	4	
一般財源	74	18	768	702	1,639	
人件費（千円）	184	186	190	190	190	
正（h）※事業費	100	100	100	100	100	
※事業費	0	0	0	0	0	
※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	566	535	962	896	1,833	
財源「その他」内訳	都市ガス施設用地賃付料 4千円					
事業費の主な支出内容	消防設備工事 1,104千円（竹島、築地） 除草作業等委託料 250千円 火災保険料 119千円					
単位コスト	算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		4円	1円	51円	48円	98円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）
	目標	6か所	6か所	5か所	5か所	5か所
	実績	6か所	6か所	5か所	5か所	5か所
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	13,700人	13,700人	13,700人	15,000人	13,800人
	実績	16,886人	16,667人	15,005人	14,500人	16,651人
	目標比	123.2%	121.7%	109.5%	96.7%	120.7%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	○	◎
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	施設の老朽化が進行しているが、人工芝を張りゲートボールコートが整備された柴橋地域スポーツ施設、中学校部活動での利用がある本条地域スポーツ施設は、他の地域スポーツ施設に比べ利用が多い。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H28]	指定管理者制度導入
[H30]	第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[H31]	乙地域スポーツ施設の廃止
[R3]	消防用設備等改修工事（竹島、築地）

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

築地地域スポーツ施設、高浜地域スポーツ施設は雨漏りがしてきている状況。老朽化が進んでいるが、大規模改修等は行わないこととし、保有する施設を選定していく必要がある。高浜地域スポーツ施設体育館は老朽化と利用者が少ないことから令和3年度で利用廃止とした。今後、各地域スポーツ施設が老朽化により廃止になれば、施設不足になることが想定される。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
平成28～30年度の第1期指定管理期間を経て、第2期指定管理期間となっている。					
定期的な修繕を行い、使用期間を延長していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
		削減	◎	◎	◎
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160213		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	サンビレッジ中条管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ		中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
				小	13	サンビレッジ体育館管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	サンビレッジ中条の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 ・平成11年度に開設
主な実施内容	・サンビレッジ中条の維持・管理 ・利用者へ貸し出し等用務 (業務委託先/NPO法人スポーツクラブたいない)
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	○	◎	○	◎
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 高台に立地されているため「交通に不便だ」という意見もあるが、定期利用団体等に利用されている。コロナ禍ではあるが、感染症対策を講じながら事業を実施し、施設利用者は前年度より増加している。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H30]	次年度以降の管理方法検討（指定管理者制度導入へ）
[R1]	指定管理者制度導入（NPO法人スポーツクラブたいない）

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	7,464	7,310	33	34	723
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	501	559	0	0	0
一般財源	6,963	6,751	33	34	723
人件費（千円）	184	260	95	95	95
正(h) ※事業費	100	140	50	50	50
委託年度 ※事業費	0	0	0	0	0
任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	7,648	7,570	128	129	818
財源「その他」内訳	工事請負費（通信環境）690千円 火災保険料 34千円				
事業費の主な支出内容					
単位コスト	算出方法 一般財源（人件費を除く）／利用人数				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	397円	430円	2円	2円	41円

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

課題	平成11年の開設以来20年以上が経過してきており、改修や修繕の必要が出てきている。
----	---

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	357日	357日	357日
	実績	357日	357日	357日	312日	343日
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	15,800人	15,800人	15,800人	15,800人	15,800人
	実績	17,557人	15,707人	15,951人	15,729人	17,667人
	目標比	111.1%	99.4%	101.0%	99.6%	111.8%

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	⑤	⑤	③	③
今後の方向性	・平成31年度より指定管理者制度を導入し、市民ニーズに合った管理運営と経費削減を行った。 ・維持補修工事を行い、長く利用できるようにしていく必要がある。 ・ソフトテニスの団体の定期活動のほかに板額太鼓など社会教育団体の定期活動もあり利用頻度も高いことに加え、開志国際の利用も多いことから利用者間の調整をしていく必要がある。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160214		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者					
事務事業名	黒川体育館管理事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計				
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費		
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		予算科目	項	07	保健体育費
					小	14	黒川体育館管理事業			目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令							
	法令による義務付け		任意		関連法規	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	黒川体育館及び黒川多目的広場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 ・昭和42年度開館 ・平成25年度外壁剥離応急処置
主な実施内容	・黒川体育館の維持・管理（直営） ・黒川多目的広場（直営） ・利用者へ貸し出し等用務
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	建築後50年以上経過しており、外壁の剥離など老朽化が著しいが、主にソフトテニスやフットサルの活動場所として利用されている。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H30]	・外壁落下対応フェンス設置 ・令和3年度（～R4.3.31）まで使用可能とする安全確保
[H31]	・黒川中町へ黒川多目的広場管理委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	655	1,032	1,163	1,083	2,118	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	169	224	196	202	202	
一般財源	486	808	967	881	1,916	
人件費（千円）	110	130	133	133	133	
正（h）※事業費	60	70	70	70	70	
委託年度※専任（h）※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	765	1,162	1,296	1,216	2,251	
財源「その他」内訳	使用料 202千円					
事業費の主な支出内容	多目的広場樹木伐採委託料 913千円 多目的広場管理委託料 140千円 光熱水費（体育館、多目的）505千円 ほか					
単位コスト	算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		65円	108円	143円	173円	575円

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	黒川体育館はR3年度で施設を廃止し、黒川多目的広場は黒川中町へ管理委託している。

7 事業の課題

黒川体育館施設解体に伴い、跡地の管理、利活用方法の検討。
------------------------------

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	357日	357日	357日
	実績	357日	357日	357日	312日	343日
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	6,300人	6,300人	6,300人	7,000人	6,000人
	実績	7,517人	7,493人	6,766人	5,104人	3,334人
	目標比	119.3%	118.9%	107.4%	72.9%	55.6%

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑦
・令和4年度着工の解体に伴い、現在の定期利用者に対して代替施設を案内していく。 ・体育館跡地を含めた黒川多目的広場の管理方法を黒川中町と協議していく。					

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	今後の方向性				
	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160215		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	山村広場管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ		中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
				小	15	山村広場（胎内球場）管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内球場及び芝グラウンドの効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	・胎内球場及び芝グラウンドの維持・管理（直営） ・利用者へ貸し出し等用務
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	48,796	6,123	7,054	3,913	3,884	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	40,000	0	0	0	0	
その他	250	101	124	87	88	
一般財源	8,546	6,022	6,930	3,826	3,796	
人件費（千円）	552	557	570	569	569	
正（h）※事業費 ※事業費 ※事業費	300	300	300	300	300	
※事業費 ※事業費 ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	49,348	6,680	7,624	4,482	4,453	
財源「その他」内訳	使用料 胎内球場 82千円 芝グラウンド 6千円					
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,044千円 光熱水費 885千円 キャンプ場借地料 393千円 ほか					
単位コスト	算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		3,752円	2,635円	2,823円	3,034円	2,356円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	210日	210日	210日	200日	200日
	実績	150日	206日	224日	214日	205日
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	4,000人	4,000人	4,000人	3,000人	3,000人
	実績	2,278人	2,285人	2,455人	1,261人	1,611人
	目標比	57.0%	57.1%	61.1%	42.0%	53.7%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	○	×	△
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	コロナ禍においてスポーツ活動の制限がR2年度に比べ緩和したことから、利用者は前年度比11%の増加となった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29]	・辺地債を活用した改修工事を実施した
[R1]	・胎内キャンプ場の休止 ・山村広場条例を廃止し、社会体育施設条例を一部改正し、胎内球場を加えた

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	施設管理運営であるため

7 事業の課題

・ナイター照明及び電動スコアボードの維持に対する方向性を検討する必要がある（今後、多大な経費に係る可能性がある）
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	⑤	③	③	③
・市外団体の利用や市民団体の利用促進に努めていきたい。 ・R4年度はすでに合宿での利用の予約が数件来ており、R3年度に比べ利用者の増加が見込まれる。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160216		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	B & G 海洋センター管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目 款 項 目		
主要施策	6	生涯スポーツ		中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		10	教育費
				小	16	B & G 海洋センター管理事業		07	保健体育費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			関連法規		胎内市社会体育施設条例	関連計画 胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	B & G 体育館、プール、艇庫（指定管理外）の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期指定管理期間（H31～R5）</li> <li>B &amp; G 海洋センター艇庫の管理運営</li> <li>自然体験活動の受け入れ（市内小学校、養護学校、専門学校）</li> </ul>
実施方法	指定管理＋市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	△	△	△	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3年度は学校の活動が徐々に行われていることもあり、とくに艇庫においてコロナウイルス感染拡大前の利用者数に戻った。</li> <li>B &amp; G 海洋センターの関連施設（体育館・プール・艇庫）は、B &amp; G 財団から13年連続「特A」の評価を得ている。</li> </ul>				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H28]	指定管理者制度導入
[H30]	第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[R1]	第2期指定管理期間（H31～R5）

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	741	2,410	695	7,413	11,691
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	408	387	65	33	6,541
一般財源	333	2,023	630	7,380	5,150
人件費（千円）	700	705	722	720	720
正（h）※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	380	380	380	380	380
※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	1,441	3,115	1,417	8,133	12,411
財源「その他」内訳	B & G 修繕助成金 6,500千円 艇庫土地賃借料 41千円				
事業費の主な支出内容	照明LED化工事 5,451千円 B&G体育館トイレ改修工事 1,694千円 B&G体育館支柱受改修工事 1,210千円				
単位コスト	算出方法 一般財源（人件費を除く）／利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	13円	116円	28円	495円	223円

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

近年は海洋レクリエーション人気が高まっていることから、胎内市を訪れ海洋レクリエーションを楽しみたいという人が増えている。当艇庫は老朽化が進んでいること、トイレ・更衣室・シャワーなどが古いこと、このことから県立の艇庫を使わせていただいている状況である。艇庫の建替工事、もしくは多機能化工事などが必要と思われる。B&Gプールは令和4年度より小学校のプール授業でも使用することから上屋工事を進める。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	357日	357日	357日	357日	
	実績	357日	357日	335日	312日	343日
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	
	目標	26,100人	26,100人	26,100人	25,000人	
	実績	25,150人	17,371人	22,771人	14,918人	23,116人
	目標比	96.4%	66.6%	87.2%	59.7%	92.5%

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	②
市民の方々が安全に利用できる体育施設として利用法を検討していく。					
平成31年度より第2期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。					
B&G財団より、10年以上「特A」評価をいただいていることを活かし、工事や修繕において助成制度を最大限活用し、施設の充実化を図っていく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
	削減	⑧	⑥	⑦
コスト投入の方向性	削減	縮小	維持	拡大



事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160217		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者				
事務事業名	胎内ライフル射撃場管理事業				事業年度	令和3年度	会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	予算科目	項	07	保健体育費
事務区分	法定受託事務		自治事務		小	17	胎内ライフル射撃場管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法令による義務付け		任意	○	根拠法令	関連例規	胎内市新潟県立胎内ライフル射撃場管理及び運営に関する条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	ライフル射撃場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 新潟国体を契機にライフル射撃場として生まれ変わり、県から管理運営を委託されている。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフル射撃場の維持・管理</li> <li>利用者へ貸し出し等業務</li> <li>ビームライフル体験の受入</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	6,311	6,612	5,737	5,177	3,641
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	872	1,181	714	243	411
一般財源	5,439	5,431	5,023	4,934	3,230
人件費（千円）	469	473	484	483	483
正（h）※事業費	255	255	255	255	255
※事業費	0	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	6,780	7,085	6,221	5,660	4,124
財源「その他」内訳	使用料 411千円				
事業費の主な支出内容	委託料 1,074千円 光熱水費 857千円 ほか				
単位コスト	算出方法 一般財源（人件費を除く）／利用人数				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	3,673円	2,947円	4,521円	11,501円	5,970円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数
	目標	250日	250日	250日	200日	200日
	実績	248日	235日	226日	178日	120日
成果指標	名称	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数
	目標	2,000人	2,000人	2,000人	1,600人	1,600人
	実績	1,481人	1,843人	1,111人	429人	541人
	目標比	74.1%	92.2%	55.6%	26.8%	33.8%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	○	△	×	△
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	県からの無償委託（利用料金は市が受領）により管理運営を行っているが、運営財源確保等について県と継続協議する。R3年度は東京オリンピックの影響もあってか、R2年度に比べ利用者は増加したが、依然利用者は少ないままである。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29]	・月曜日及び火曜日を休館日に設定
[H30]	・雇用時間の見直し ・第4回全日本小学生エアライフル射撃競技選手権優勝者輩出
[R2]	・開館日を水・木・土・日曜日の週4日に設定 ・50m射場に仕切り壁を設置し50m射場と10m射場を集約化した
[R3]	・開館日を土日（祝）の週2日に設定

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	ライフル射撃という公安委員会からの許可が必要な特殊事情があるため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>過去には市内から国体選手が育っているが、広く市民に利用される種目ではなく、収支面に課題が残る。</li> <li>コロナ禍の影響もあるが、県ライフル協会が競技人口の拡大・普及活動に消極的である。</li> </ul>
---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	⑤	⑤	⑤	⑤
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用促進に向け、大会の開催や、練習会等を県ライフル協会に開催してもらい、利用人数の増加につなげていく必要がある。</li> <li>県立施設であり、県とランニングコストなど費用負担などのあり方について協議を続ける。</li> <li>現在JOC認定競技強化センターに認定されているが、東京オリンピックが終了したため、認定見直しの際に認定が外れる可能性が高く、強化選手による合宿や競技会の開催が無くなる可能性がある。</li> <li>利用者数確保のため、大会等を誘致するよう協会に働きかけていく。</li> </ul>					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
拡充	×	④	②	①																						
維持	×	⑤	③	×																						
縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																						
	削減	縮小	維持	拡大																						
コスト投入の方向性																										

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160220		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者					
事務事業名	胎内レクホール管理事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計				
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費		
主要施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		予算科目	項	07	保健体育費
					小	20	胎内レクホール管理事業			目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市公共施設等総合管理計画			
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市公共施設等総合管理計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内レクホールの効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	・施設の管理運営
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	0	0	0	1,573	1,724
国・県支出金				0	0
地方債				0	0
その他				0	54
一般財源				1,573	1,670
人件費（千円）	0	0	0	133	133
正（h）※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費				70	70
※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費				0	0
総事業費＋人件費	0	0	0	1,706	1,857
財源「その他」内訳	使用料		54千円		
事業費の主な支出内容	修繕費		727千円		
	光熱水費		336千円		
	施設管理委託料		264千円 ほか		
単位コスト	算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数			
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1,135円	1,704円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称			施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標			357日	357日
	実績			312日	357日
成果指標	名称			年間利用者数	年間利用者数
	目標			2,000人	2,000人
	実績			1,386人	980人
	目標比			69.3%	49.0%

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度				×	×
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	市内小学校や保育施設での新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用が少なかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[R2]	・R2年度より農林水産課から生涯学習課へ移管。
[R3]	・トイレ壁改修 ・非常用照明等改修

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	施設管理運営であるため

7 事業の課題

・避難所に指定されているが施設の老朽化が進んでいるため、近々補修工事が必要となる。 （天井鉄筋塗装、床張替、照明LED化、バスケットゴール設置等）
--

8 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性				③	③
・黒川体育館解体着工がR3末となったため、利用者増にはならなかった。また、若年者層にコロナウイルス感染が拡大したため、スポーツ少年団等での利用が少なかった。R4はすでに定期利用団体やイベント等も入っており、大幅な利用者増が見込まれる。 ・多彩なスポーツ活動が出来るような改修が必要となる。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	160310		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者			
事務事業名	競うスポーツ事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ		中	03	スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化		項	07	保健体育費
				小	10	競うスポーツ事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	スポーツ基本法		関連計画	胎内市スポーツ推進計画		
	法令による義務付け			関連例規						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	選手や指導者を育成し、競技力の向上を図り、地元でスポーツを続けられる環境を整備するため、スポーツ協会への補助金交付と大会出場激励費の交付を行っている。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ協会へスポーツ振興補助金を交付する。</li> <li>・スポーツ大会出場激励費の交付。</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	4,889	5,381	3,928	3,141	3,911	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	4,889	5,381	3,928	3,141	3,911	
人件費（千円）	552	631	570	569	569	
正（h）※事業費 ※事務任用（h）※業務費	300	340	300	300	300	
総事業費＋人件費	5,441	6,012	4,498	3,710	4,480	
財源「その他」内訳	胎内市スポーツ振興補助金（スポーツ協会）2,240千円 各種スポーツ大会出場選手激励費 1,625千円 通信運搬費 17千円 ほか					
事業費の主な支出内容						
単位コスト	算出方法	スポーツ振興補助金／スポーツ協会会員数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		2,214	4,982	4,103	5,359	5,221

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	スポーツ協会会員数	スポーツ協会会員数	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付
	目標	1,500人	1,500人	1件	1件	1件
	実績	1,287人	562人	2,240千円	2,240千円	2,240千円
成果指標	名称	全国大会出場実出場数（社会人）	全国大会出場実出場数（社会人）	全国大会出場者数（実人数）	全国大会出場者数（実人数）	全国大会出場者数（実人数）
	目標	10競技	10競技	110人	110人	110人
	実績	12競技	6競技	95人	60人	98人
	目標比	120.0%	60.0%	86.4%	54.5%	89.1%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	△	○	△	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	競技スポーツに真剣に取り組む選手の活躍が、市民に勇気や活力を与えているが、スポーツを楽しむとする裾野の拡大に繋がるような啓発活動を行うなど、工夫が求められている。R3年度はコロナ禍において、感染対策予防を講じたうえで大会が実施された。全国大会出場者数も目標数値の90%弱となった。また、冬季北京オリンピックに胎内市出身選手が出場するなど、市のスポーツが例年以上に盛り上がりを見せた。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H30]	・北信越大会に対する激励費を、1万円から5千円に減額。
[H31]	・北信越大会（地区大会）、全国大会、国際大会、オリンピック・パラリンピックへの交付は1人につき各1回までに変更。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	市が大会等に出場する市民への応援事業であるため

7 事業の課題

全国大会等に出場する選手の活躍をもっと市民へ伝え、スポーツ・運動への意識を高めていく必要がある。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	⑤	⑤	③	③
・開志国際高等学校や新潟食料農業大学との連携等は、将来有望なアスリートの効果的な発掘・育成を図る上で重要であることから、広報掲載するなど活躍を報告するなどを検討する。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
		削減	◎	◎	◎
コスト投入の方向性					